

日本 SEL 研究会会員の皆様

第 13 回大会実行委員長 松本有貴

## 日本 SEL 研究第 13 回大会へのお誘い（1 号通信）

第 13 回大会は、新型コロナウイルス感染状況に注意を払い、また多くの方に参加いただけるよう、オンライン開催で研究大会を実施いたします。

大会テーマは、前回の「SEL（社会性と情動の学習）をどう日本と世界に広げ継続していくか」を受け継ぎ「多様な設定と連携により発展する日本の SEL」と設定します。学校や園から広がる実践や企業・行政との連携による実践などが、SEL の広がりを実現している現状を共有し、日本における SEL の今後の展開を探ります。ぜひご参加ください。

-----  
大会テーマ：「多様な設定と連携により発展する日本の SEL」

日時：2 月 25 日（土）9：30 より受付開始 10：00 開始 18：00 終了

Zoom によるオンライン開催

### プログラム

- **講演**：日本の未来に貢献する SEL：Discovering the role of SEL in developing Creative Collective Intelligence（創造的集団知の開発における SEL の役割の発見）

講師：Patrick Newell（教育活動家・ビジョナビゲーター・「TEDxTokyo」代表）



アメリカ出身。東京インターナショナルスクールの共同創設者。  
講演イベント「TED」の「TEDxTokyo」共同設立者。  
OECD の日本における SE スキル調査に関わっている。

ご本人からいただいた英文紹介文を訳し(DeepL 使用)数回に分けてご紹介いたします。その 1

1995 年、パトリックと彼のパートナーは、2 人の娘のために東京インターナショナルスクール (TIS) を設立することを決意しました。パトリックは、既存の学校が 20 世紀型の教育から抜け出せず生徒の将来を欺いていると感じ、これを変えなければならないと考えました。TIS は、アメリカ以外で初めてアップル教育のモデル校となり、多くのオンライン学習プログラム、レゴマインドストーム、プロジェクトベースラーニング、SEL、国際バカロレア PYP、デザイン思考 DYI ラボをそれぞれいち早く導入しました。

また、New England Association of Schools & Colleges Accreditation というシンクタンクのメンバーとして、世界中の 1,800 校の認証モデルを見直して改訂を行い、21 世紀型スキルをまとめました。日本を含む 9 カ国のア kredィテーション・チームに所属し議長を務めました。

## シンポジウム：「多様な設定と連携により広がる SEL の可能性」

シンポジスト 今井朝子 自由ヶ丘学園高等学校 教育戦略室長  
OECD SE スキル調査ナショナル・プロジェクト・マネージャー

シンポジスト 山根隆宏 神戸大学 日本 SEL 研究会理事  
／石本雄真 鳥取大学 日本 SEL 研究会理事

シンポジスト 船度圭子 和歌山県学童保育連絡協議会役員

司会進行 渡辺弥生 法政大学 日本 SEL 研究会理事

- **研究発表：「多様な SEL 実践やアイデアを共有する」**

司会 佐藤修哉 長野大学 日本 SEL 研究会理事  
青山郁子 都留文科大学 日本 SEL 研究会理事

- **オンライン交流会：**

司会進行 西田千寿子 一般社団法人日本レジリエンス教育研修センター代表  
日本 SEL 研究会監事

### 大会運営

大会長 松本有貴 徳島文理大学 日本 SEL 研究会副代表理事  
事務局 瀧澤 悠 都留文科大学 日本 SEL 研究会理事  
岡山千賀子 徳島文理大学 日本レクリエーション協会理事

**参加・発表申込み方法**； <http://j-sel.org/> より

**参加費**：会員 1,000 円、学生非会員 2,000 円、非会員 4,000 円

---

締め切り期日

研究発表申し込み・原稿送付期限：1/22

お申込みいただいた方に抄録原稿送付をご案内します。

参加申し込み期限：2/20

参加費支払い期限：2/21

お申込みいただいた方に Zoom による大会参加案内を送ります。